



小学校だより Vol.136

椋山女学園大学附属小学校図書館へようこそ



カエルのコーナー



アフリカのコーナー

子どものうちから本に親しむ。そのために学校図書館の役割は大きなものがあります。子どもにとって気軽にいける場所。そこに行くとなぜかしら落ち着いた気持ちになれる。いっぱい楽しそうな本があり、思わず手にとってみたくなる。自分の人生にとって大きな意味をもつことになる一冊の本と出会うかもしれない。学校図書館がそんな場所であるために、今後とも充実を図っていきたくと考えています。その一翼を担っていただくために、今年度より学校司書として今井央子さんをお迎えしています。今井さんには着任以来、図書室の整備を精力的に行っていたいただき、全体の本の配置が子どもに分かりやすいものになっています。また、例えばティンガティンガの贈呈式があると、「アフリカコーナー」を設けるといのように、タイ

ムリーなテーマの本が目にとまりやすいよう工夫して配置されています。子どもたちからも「学校司書さんがいろいろ

な本をすすめてくれたり、読み聞かせをして、とてもうれしい。」という声がかれます。そんな今井さんにいくつか質問をしました。

Q 学校図書館に関わるようになつたきっかけは何ですか。
A 学校に通う子どもたちにとって、最も身近な本との出会いは学校図書館だということに気付いたことがきっかけで、学校図書館でのボランティアを始めるようになりました。

Q 椋山小学校の子どもたちの印象を教えてください。
A とても明るくて利発なお子さんが多いという印象です。
Q 椋山小学校の子どもたちがどのように育ってほしいですか。



読み聞かせの様子



今井さん

校長 森 和久

A 深く物事を考えることのできる女性に育ってほしいです。それには豊富な語彙が必要ですから、読書することは、欠かせないことだと思っています。

Q 本日のお薦めの本を教えてください。

A 「精霊の木」上橋菜穂子作(偕成社)をお薦めします。

Q 本校においては、従来よりPTAの皆さまの有志で図書ボランティアをしていただいています。ボランティアをしてくださる方に一言お願いします。

A ご多用のなか、ありがとうございます。皆さまの愛情が子どもたちに伝わるような活動になるとよいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今井さん、そして図書ボランティアの皆さまのご尽力でますます充実していく本校図書館をぜひのぞいてみてください。



図書ボランティアの皆さま制作
夏らしいかざりつけ



特集 夏の宿泊行事の変遷 P2

学期のトピックス P3 / 委員会・部活動報告 P4 / 学期の記事 P5

学年トピックス P6~P17

PTA P18、P19 / 職員の諸活動・学園トピックス・編集後記 P20

CONTENTS